第２期「多言語の脳科学」共同研究　わくわくスタート！

2017年４月22日
BS朝日放送「こどもはことばの天才！～脳科学で見る“多言語”の不思議～」放映

東京大学大学院総合文化研究科の酒井邦嘉教授は、人間が言語を話すメカニズムを最新の技術・fMRIなどを駆使して研究。酒井教授が取り組んでいる研究は多言語の脳科学。いくつもの言語を話し使いこなす人は、どのように言語を習得するか？その時、脳の中ではどんなことが起きているのか？　MITのスザンヌフリン教授は「多言語を話すことは人間にとって自然である」と主張。両教授が注目している日本の言語習得活動グループヒッポファミリークラブを紹介。こどもたちはどのようにしていくつもの言語「多言語」を身に着けていくのか、人間だけが持つ“ことば”の不思議に迫る。

カザフ語による認識調査プロジェクトスタート

夏以降、東京大学大学院・酒井邦嘉教授研究室でfMRIによるカザフ語認識調査開始予定。

オープントラカレ講座；酒井邦嘉教授　誰にでもわかる！「ノームチョムスキーの統辞構造論」

7月11日(火) 10:30～13:00 言語交流研究所本部
参加費：大人1500円　大学生～6歳500円　5歳以下300円

MIT スザンヌフリン教授、東京大学 酒井邦嘉教授を迎えて

7月30日(日) 14:00～16:30　言語交流研究所本部
「多言語の脳科学」共同研究シェアの会　ブレインシェアリング　参加費：大人1000円　高校生以下500円
7月31日(月) 10:30～13:00　国立オリンピック記念青少年総合センター 国際会議室
「多言語の脳科学」共同研究ワークショップ　参加費：大人500円　大学生～こども無料
8月2日(水) 14:00～17:00　福岡市健康づくりサポートセンター あいれふホール　後援：福岡県教育委員会、西日本新聞社
西日本初！「多言語×脳科学」共同研究シンポジウム　参加費：大人2000円　大学生～小学生1000円
8月4日(金) 18:00～20:30　広島県民文化センター 多目的ホール　後援：広島県、広島県教育委員会、中国新聞社
西日本初！「多言語×脳科学」共同研究シンポジウム　参加費：大人2000円　大学生～小学生1000円

豊かに！多言語育てよう！「共同研究基金」

今年度も、家族や仲間で楽しい多言語の環境づくりや国際交流を進めながら、ヒッポファミリークラブの活動を基盤にして、「多言語の脳科学」共同研究を支えていきましょう。

皆さまのご活躍とご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

「多言語の脳科学」共同研究基金

第２期（2017.4.1 ～ 2018.3.31）募金活動がスタート！
引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

基金応募の対象

個人、グループ、団体
ご寄付は、個人、グループ、団体単位で受付いたします。
一口　1,000円　一口以上何口でも。

ヒッポファミリークラブの地域活動、ワークショップ、講演会、交流会などでも基金へのご支援をお願いいたします。個人はもちろんグループや団体でもご寄付いただければ幸いです。
グループ・団体の場合は、一口1,000円の単位に限りません。

基金への募金方法

銀行振込み（ATM等）の場合は右記にお願いいたします。
振込み手数料は、言語交流研究所が負担いたします。
言語交流研究所各本部でも受付いたします。

銀行名　城南信用金庫　渋谷支店（店番025）
口座名　一般財団法人　言語交流研究所
口座番号　【普通】４３２０３９

基金のお申込み お問い合わせ先
一般財団法人言語交流研究所
ヒッポファミリークラブ
〒150-0002　東京都渋谷区渋谷2-2-10　青山H&Aビル3F
TEL. 03-5467-7041㈹　FAX. 03-5467-7040
フリーダイヤル 0120-557-761　http://www.lexhippo.gr.jp

育てよう

「多言語の脳科学」 東京大学・MIT・（一財）言語交流研究所

共同研究基金

News letter ニュースレター Vol.1

主旨と感謝

東京大学大学院 言語脳科学 教授
酒井邦嘉

2016年4月より、「多言語の脳科学」をテーマに東京大学・MIT（マサチューセッツ工科大学）・一般財団法人言語交流研究所の共同研究が始まりました。ことばを見つけ、生み出していく脳の働きに焦点をあて、人間の言語獲得の仕組みについてより明らかにしていこうという試みです。脳は複数の言語をどのように処理するのか、また多言語体験者の脳は新しい言語に出会った時どう反応するのか、いくつかのテーマを立て、多言語習得にかかわる脳のメカニズムを解明することがこの共同研究の目的です。まずは5年間の継続研究を目標に、多言語体験者の脳のメカニズムを解明していきます。

この共同研究スタートと同時に、『共同研究基金』を設立させていただきました。沢山の方々にご関心を寄せていただき、共同研究基金にご寄付を賜りまして、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

昨年度は、MITのスザンヌフリン教授をお迎えし、酒井邦嘉教授とともに、シンポジウムやブレインシェアリングの会を開き、「多言語の脳科学」共同研究を共有いたしました。

マサチューセッツ工科大学 言語学 教授
スザンヌ フリン

第2期（2017年4月より2018年3月）は、多言語環境に触れた人と、触れたことのない人を対象に、カザフ語のテーマによりfMRIで脳の働きを測定する試みが進んでおります。夏にはスザンヌフリン教授やMIT研究生の来日が予定されるなど、更なる共同研究の展開に期待が寄せられています。

この4月には「多言語の脳科学」共同研究から、BS朝日放送にて「こどもはことばの天才！」が特集され、言語交流研究所・ヒッポファミリークラブの実践成果にも大きな関心が集まっております。

第1期共同研究基金募金に、沢山のご寄付を賜りまして本当にありがとうございました。「多言語の脳科学」の共同研究を日本とアメリカで進めるにあたり、引き続き第2期共同研究基金にご支援いただきますよう、皆さまの募金をどうぞよろしくお願い申し上げます。

一般財団法人 言語交流研究所
代表理事 鈴木堅史

基金額

ヒッポファミリークラブメンバー、フェロウ、フェロウご家族、フェロウ地域会、交流グループフェロウ、地域合宿事務局等より、沢山のご支援をいただきました。誠にありがとうございました。

また、2016年2月15日・18日、8月10日、2017年2月22日・23日に東京で開催された「多言語の脳科学」ワークショップ、シンポジウム、ブレインシェアリング等6回にご参加の皆さまの参加費から、50万円をご寄付いただきました。

第1期共同研究基金の全額を「多言語の脳科学」共同研究費用に充当させていただきます。

募金額
1,734,335円
Thanks!

募金総額
2,234,335円
Gracias!

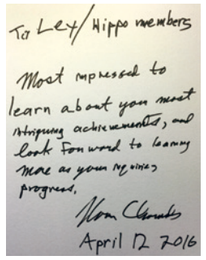
1 期（2016 年 4 月 1 日〜2017 年 3 月 31 日）の共同研究から

2016 年
2 月 18 日　「多言語の脳科学」共同研究記者会見　於；東京・渋谷ヒカリエ

東京大学、MIT、言語交流研究所は、世界で初めて多言語習得のメカニズムとその効果を脳科学的に調査し解明していくことを発表、ここから５年間にわたり共同研究を進めていく。

4 月

酒井邦嘉教授、スザンヌフリン教授、鈴木堅史理事がアメリカ・ボストンで共同研究について打ち合わせし、LEX America 理事会で研究内容を共有。4 月 12 日には、MIT ノームチョムスキー博士との再会も実現し、ヒッポファミリークラブの皆さんにメッセージをいただいた。



Lex/Hippo メンバーの皆さんへ
あなた方の大変興味をそそられる活動の成果を知って、とても感銘を受けました。そして、これからの（共同）研究活動が進んでいくのを、是非学んでいきたいと思います。

Noam Chomsky
2016 年 4 月 12 日

5 月〜 7 月
「言語の脳科学」連続 5 回講座　於；言語交流研究所本部

酒井邦嘉教授は、ご自身の著書「言語の脳科学」中央公論新社刊を題材に精力的に連続講座を開催。「言語はサイエンスの対象である」「多様に見える人間のことばは、基本的に一つ。脳はどの言語も同じ場所で処理している」「ことばとは何か？を考えることは、人間とは何かを考えることである」等から、受講した約 700 名の皆さんは、多言語体験をベースに展開される共同研究にワクワク心が踊った。

8 月 6 日・7 日
MIT スザンヌフリン教授来日記念シンポジュウム＆ワークショップ in 札幌

北海道・札幌市にスザンヌフリン教授、酒井邦嘉教授を迎え、多言語研究＆親子の会に両日で約 500 名が参加。小学生時代数年間を札幌で過ごした酒井教授は当時の思い出を地元の方々ともシェア。北の大地に「LOVE! スザンヌさん＆クニさん」旋風が巻き起こった。

8 月 10 日「多言語の脳科学」共同研究　ブレインストーミング　於；言語交流研究所本部

共同研究の目的や研究の方向性について、参加者の質問や意見も取り入れながら進行。研究側で東京大学大学院酒井研究室の学生さんや研究をサポートするアイドスさん（カザフスタン）も参加。ドイツやルーマニアなどの海外メンバーも含め約 100 人が参加。

2017 年
2 月 22 日「多言語の脳科学」共同研究　ワークショップ＆シンポジウム　於;国立オリンピック記念青少年総合センター
2 月 23 日「多言語の脳科学」共同研究　ブレインシェアリング　於；言語交流研究所本部

第 1 期の共同研究の進捗状況を参加者皆さんと共有。スザンヌフリン教授と酒井邦嘉教授の打ち合わせから、「多言語に触れた経験を持つ脳が、さらに新しい言語を習得する際にどのような反応が起きるか」を多言語環境の人と単言語環境の人を対象に、fMRI を使って「カザフ語」認識調査スタートを発表。その場で被験者募集の発表があり会場から歓声があがった。共同研究の具体的な進展に大きな期待が寄せられた。この日、ヒッポファミリークラブ地域合宿「富士山合宿事務局」より共同研究基金に 30 万円の寄付が寄せられ、富士山合宿に 25 年の間に参加した皆さんに大きな拍手が起こった。

fMRI による「カザフ語」実験調査被験者募集！

2017 年 6 月より始まる実験の被験者に約 20 人の方の応募いただきましたが、なお若干名募集しております。関心のある方は言語交流研究所・平岡一武までご連絡ください。

募集対象

- 年齢；13 歳〜 29 歳までの男・女
- 日本語を母語とし、英語とスペイン語が話せる人
- スペイン語圏に 6 ヵ月以上滞在経験のある人
- 6 月〜 8 月、東京大学酒井研究室で 2 日連続、各 2 時間くらいの実験に協力できる人
- 右ききの人
- お礼（交通費程度）いたします

MISTI MIT International Science and Technology Initiatives GLOBAL SEED FUNDS

MIT に国際科学技術を推進・支援する Global Seed Funds という基金があります。「多言語の脳科学」共同研究を、MIT・東京大学・言語交流研究所が進めるにあたり、スザンヌフリン教授が研究者となってこの基金に応募したところ、酒井教授や多言語の人々との、研究テーマの新しさや研究のベースの実績が認められて、$15,620 の研究補助をいただくことになりました。MIT の学生がこの研究のために日本訪問や、MIT でも共同研究ワークショップが開催できるなど、この基金によって MIT や LEX America でも、共同研究により大きな広がりが期待されます。

Elizabeth White（LEX America, Executive Director）

ご寄付者ご芳名

2016 年 4 月 1 日に共同研究基金の募金がスタートすると、全国から銀行振り込みで、また合宿やファミリーでの呼びかけ、各本部での募金など、2017 年 3 月 31 日まで沢山のご支援をいただきました。ありがとうございました。

		円
2016年4月		
6日	コイデハルシ	10,000
6日	サクライヨウコ	10,000
8日	ヒラオカアキコ	10,000
11日	渡辺敏樹	10,000
15日	竹内博子	5,000
20日	横北合宿有志	15,541
20日	西武線有志グループ	4,680
25日	井内わか	30,000
25日	張 英玉	1,000
25日	吉田清見	1,000
5月		
2日	コウザキアイ	50,000
2日	シラキススム	1,000
2日	タカツヒデカズ	10,000
2日	キタムラサユリ	1,000
6日	染野裕子	1,000
7日	星名和代	1,000
7日	沖悦子	1,000
7日	清水れい子	1,000
7日	折田玲子	2,000
7日	東島直美	1,000
7日	永井信子	1,000
7日	広瀬朋子	1,000
7日	山本礼子	1,000
7日	東山光枝	1,000
7日	山嵜登喜子	1,000
7日	大塚夏子	1,000
7日	豆田和子（瑞穂 F）	5,000
7日	小島達哉・規子	10,000
9日	匿名	100,000
9日	飯田美恵子	10,000
11日	カマザキノブオ	10,000
12日	ヨシダヤスコ	20,000
17日	オクヤママユミ	10,000
18日	タカヤマキヨコ	20,000
20日	キンシチョウナンジャモンジャ F サクライヨウコ	10,000
20日	オガワマスコ	10,000
20日	イヌヤマチャットファミリー	10,000
23日	ヒッポファミリークラブ トウカツ	35,000
24日	ハタノハツヨ	10,000
27日	メイテツカンコウサービス（カ	10,000
23日	石原澄子	1,000
30日	北東北フェロウー同	11,000
30日	佐伯ルミ子	10,000
30日	総武千葉西フェロウズ メンバーー同	5,000
6月		
1日	小笠原靖江	10,000
1日	イズミヤヒロコ	3,000
9日	イチハシタクヤ	2,000
10日	飯田美恵子	10,000
20日	星敬子	2,000
7月		
7日	シブヤツトム	10,000
8日	タガギトモコ	4,000
12日	中里春枝	5,000
14日	スズキアケミ	1,000
14日	ナイトウカズコ	30,000
8月		
10日	飯田美恵子	10,000
18日	イトウキヨヒコ	1,000
9月		
13日	飯田美恵子	10,000
15日	サイトウハルミ	10,000
10月		
7日	サクライヨウコ	10,000
11月		
25日	飯田恵美子	10,000
12月		
5日	サクライヨウコ	10,000
8日	田中宣子	50,000
14日	飯田美恵子	10,000
26日	中山摩利子	20,000
2017年1月		
5日	飯田美恵子	10,000
17日	サクライヨウコ	10,000
2月		
2日	キンシチョウナンジャモンジャ F サクライヨウコ	10,000
10日	飯田美恵子	10,000
14日	竹内博子	2,000
20日	船津百合子	3,000
22日	中部事務所募金箱	21,150
22日	飯田美恵子	10,000
23日	富士山合宿事務局	300,000
23日	佐藤まなつ	1,000
23日	折田玲子	1,000
23日	鈴木弘美	1,000
23日	三好康子	1,000
23日	三島丘美子	1,000
23日	島崎貴弘	1,000
23日	渡辺佳美	1,000
23日	大塚夏子	1,000
23日	青柳友美	2,000
23日	大田深雪	5,000
23日	山本恵子	10,000
23日	タニモトカズヒコ	100,000
27日	セキカワタダシ	10,000
27日	箕作初香	10,000
27日	福山美紀	3,000
3月		
6日	2014CA グループ フェロウ（4 名）	9,202
6日	大竹順子	1,000
6日	圓岡悦子	1,000
8日	埼玉東地域フェロウー同	50,000
8日	飯田美恵子	10,000
10日	渡辺裕予	10,000
16日	16 関西青少年合宿	13,130
16日	阿部ゆかり	3,000
27日	サクライヨウコ	10,000
30日	原田龍太郎	6,180
30日	上斗米正子	10,000
31日	東急地域メンバー有志	30,000
31日	ヒライユリカ	1,000
31日	モロホシカヨ	5,000
31日	ホリタナオミ	3,000
31日	東京本部募金箱	12,396
31日	西日本 ALL ヒッポファミリークラブ	350,000
	合計	1,734,335

＊合計額には銀行振込料（1,944 円）を含んでおりません。

ファミリーづくりと共同研究サポート

飯田美恵子（東京都小平市）

榊原陽さんとお会いしたときから、「ことばは自然科学です」と仰ることに興味をもちました。ですから、多言語活動の研究部門トラカレが好きで、事あるごとに必ずトラカレにも参加しておりました。今も「なんトラ」（自然科学のフィールドワークチーム）に参加、「部分と全体」「量子力学の冒険」など物理系の本を仲間と群読シェアリングを楽しんでいます。

そんな中、スザンヌフリン先生、酒井邦嘉先生、ヒッポの 3 者共同研究が始まるという話を聞いた時はワクワクしました。ヒッポファミリークラブの全国のメンバーの体験をシェアしながら、多言語活動実践から 35 年間かけて見つけてきたこと、これから見つけ続けていくことを、世界に発信する素晴らしい機会だと思いました。

ささやかながら何か協力したいと願い、一度に沢山のサポートはできないので、「ちりも積もれば山となる」の諺のように、毎月少しづつ定額貯金のようにサポートしようと考え実践しました。ファミリーづくりと共同研究のサポートを支えに、この 1 年楽しくがんばりました。次年度の共同研究活動の展開にも益々期待しております。

共同研究への期待とその先の展望

谷本和彦（愛知県日進市）

最初、多言語を脳科学的に研究すると聞いたとき、多言語は認知症予防になるなんてことが分かればいいなと思ったものだが、まずは多言語と脳の働きの基礎的なデータを収集・解析するところから始めるのは研究の王道であろう。そしてこの研究の進捗により、多言語のすばらしさが立証されたとして、さらにその先に我々ヒッポの出番があるのではないか。

研究は分析的なものと開発的なものに分けられる。すなわちこの共同研究は前者であり、その成果を活用して、より確実で自然な多言語自然習得法を見つけるという後者が大切なのではないか。ヒッポの初期は「テープをひたすら聞く」から始まり、やがて「メタ活」*になり、今では C3P〜C 多 P（多言語の音源を多様にする環境づくり）など「音に浸る」も加わったが、もっと多くのヒッポメンバーが多言語自然習得を実感できる方法を確立し、「ことばはボクらの音楽だ！」の次版を出版することができたとき、この共同研究は完結することになり、ノーベル賞受賞間違いないものになるだろう。

多言語と脳科学の共同研究に重ねて、我々も多言語の冒険に果敢に挑もうではないか。

＊何語でも、聞こえるままに歌うように口ずさむこと